

GP-FS,FT型 シリンダー弁

製品記号 GPFS-BD (二方弁、要部CAC)
 GPFS-GD (二方弁、要部SUS)
 GPFT-BD (三方弁)

CP-FS型、CP-FT型で使用できない高差圧、高温又は操作空気圧力が低い場合などに使用し、ご仕様に応じて設計製作いたします。標準型の駆動部は単動式(スプリングリターン)ですが、四方口、五方口切換弁で操作する複動式も製作しています。



GP-FS型(二方弁)



GP-FT型(三方弁)

■仕様

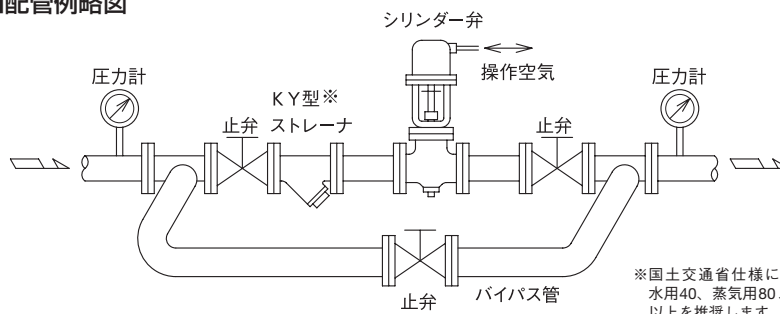
弁本体部	形式	二方口単座(正弁、逆弁)		三方口(合流形、分流形)
	型式	GP-FS型		GP-FT型
	製品記号	GPFS-BD	GPFS-GD	GPFT-BD
	呼び径	80~300		
	適用流体	水・空気・ガス・油 ^{注1} ・(蒸気 ^{注2} ・その他 ^{注3})		
	適用温度	流体温度:180℃以下、周囲温度: -10~60℃		
	定格圧力	1.0MPa		
	端接続	JIS 10K FF フランジ		
材質	本体	FC ^{注4}		
	要部	CAC406 ^{注5}	SUS ^{注5}	CAC406 ^{注5}
	耐圧試験	水圧にてフランジ呼び圧力の1.5倍		
駆動部	形式	単動式(スプリングリターン) ^{注6}		
	材質	STPG		
	操作空気圧力	仕様に合わせ製作いたします。		
	気密試験	空気圧にて操作空気圧力の1.5倍		

注1. 燃料油及び軽油用の場合は、ご使用先(国土交通省、防衛省など)によっては本体材質の指定がある場合がありますので、ご確認願います。
 注2. 蒸気用も製作しています。
 注3. 軽油、灯油、気体などの流体にはPTFEディスク入をご使用ください。
 注4. 本体SCPH製も製作しています。(定格圧力:3.0MPa以下、端接続:JIS 10、16、20、30Kフランジ)
 注5. PTFEディスク入も製作しています。
 注6. 複動式も製作しています。

CP、GP型シリンダー弁取付け・取扱い上のポイント

- シリンダー弁の取付けは、一般の制御弁と同様に標準配管として、シリンダー弁前後には必ず止弁を取り付けると共に、バイパス配管を取り付けてください。
- 流体中にスケールなどの異物が多く入り込んだままON-OFF作動をさせますと、弁当り面を損傷しますので必ず入口側にストレーナ^{*}を取り付けてください。
- シリンダー弁を取り付ける前に配管内を完全に清掃して、溶接チップ、スケールなどの異物を取り除いてください。
- 清掃が終了してシリンダー弁を取り付ける場合、流体の流れ方向と本体に示されてある矢印の方向とが一致していることを確認してください。
- シリンダー弁の取付姿勢は、水平配管に駆動部が上方垂直になるように取り

■配管例略図



^{*}国土交通省仕様に基づき、水用40、蒸気用80メッシュ以上を推奨します。

- 付けてください。垂直配管への取り付けは、シリンダー弁姿勢が横向になり各摺動部の片減り現象の原因ともなり、機能を著しく害するようになりますから絶対に避けてください。
- 操作空気圧力用配管は、操作圧力源からみてフィルター、減圧弁、オイラー、

- 切換操作弁という順序にて取り付けてください。
7. 分解点検時にはスペースが必要です。必ずメンテナンススペースを確保してください。
^{*}メンテナンススペースについては、製品個々の取扱説明書でご確認ください。